

2025年度 事業計画 【海と灯台プロジェクト 利活用モデル(海と日本 2025)】

甲及び乙は、助成契約書第2条第2項記載の事業計画について本書のとおりであることを確認し、これを証するため、本書の電磁的記録を作成し、甲乙が合意の後電子署名を施し、各自その電磁的記録を保管する。

事業 ID 2025003097

期間 2025/04/01 ~ 2026/03/31

乙:

住所 〒103-0026 東京都中央区
日本橋兜町17番2号兜町第6葉山ビル4F

団体名(国名) (一社)海洋文化創造フォーラム(日本)

代表者 代表理事 山本 徹

甲:

住所 〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2
(日本財団ビル)

団体名 (公財)日本財団

代表者 会長 笹川 陽平

【目的】

地域の灯台の文化・歴史的価値を磨き上げ、空間デザインとしての「場」のポテンシャルを生かした利活用の提案を全国から募り、灯台の新しい利活用モデルを創造し、海洋文化資産としての灯台の未来に価値を創出する。

【目標】

海と灯台モデル事業への応募を40以上集め、のべ20事業を採択する。

(海と灯台利活用チャレンジ事業約8件

新たな灯台利活用モデル事業 調査検証コース約5件、灯台利活用コース約7件)

海と灯台モデル事業の取り組みや成果について情報発信するため、報告会やWebサイト運営を行う。海と灯台モデル事業および海と灯台サミットに関し、200媒体以上のメディア露出を図り、灯台利活用の機運醸成を図る。

【事業内容】

1. 「海と灯台モデル」事業の実施

(1) 時期: 通年

(2) 場所: 全国(計20ヵ所)

(3) 対象:

(4) 内容: a. 灯台の新たな利活用促進のため、地域団体等から企画を募り審査・採択

b. 海と灯台利活用チャレンジ事業、海と灯台モデル調査研究事業、海と灯台モデル利活用事業

2. 海と灯台サミット2025の実施

(1) 時期: 2025年11月

(2) 場所: 東京

(3) 対象: 200名以上(一般、有識者、地方自治体関係者等)

(4) 内容: 灯台の新たな利活用の機運を盛り上げるため、異分野・異業種も含めて、新たな利活用について議論するシンポジウムイベントの実施

【成果物】

1. 「海と灯台モデル」海と灯台利活用チャレンジ事業 PRレポート記事(公式Webサイトに掲載)

2. 「海と灯台モデル」新たな灯台利活用モデル事業 事業報告(公式Webサイトに掲載)
3. 「海と灯台サミット 2025」PRレポート記事(公式Webサイトに掲載)

2025年度 事業計画 【海と灯台プロジェクト 調査研究&ネットワーク（海と日本 2025）】

甲及び乙は、助成契約書第2条第2項記載の事業計画について本書のとおりであることを確認し、これを証するため、本書の電磁的記録を作成し、甲乙が合意の後電子署名を施し、各自その電磁的記録を保管する。

事業 ID 2025003066

期間 2025/04/01 ~ 2026/03/31

乙：

住所 〒103-0026 東京都中央区
日本橋兜町17番2号兜町第6葉山ビル4F

団体名（国名） （一社）海洋文化創造フォーラム(日本)

代表者 代表理事 山本 徹

甲：

住所 〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2
(日本財団ビル)

団体名 (公財)日本財団

代表者 会長 笹川 陽平

【目的】

灯台は、重要な海洋文化資産でありながら専門研究組織も存在せず、その価値が体系的に編集されてこなかった。本事業は異業種・異分野を含む、全国の研究者をネットワーク化して灯台の価値を編集・発信し、灯台の文化的価値を磨き上げる。また、灯台の魅力に関心を寄せる人たちが灯台を訪れる機運をつくり、灯台を地域の海のシンボルとして、重要な地域資産として、利活用していくネットワークを構築する。

【目標】

「灯台×旅の需要調査」や「海と灯台学研究」の成果をいかし、「海と灯台知識啓発映像」を制作。100万人以上の視聴リーチを目指す。また、著名作家が灯台を旅して執筆する紀行文や、調査レポート、Webサイト等を通じ、調査研究事業の成果を届ける。「海と灯台ウィーク2025」では、一般来場者20,000人以上の参加を目指す。全国の灯台および灯台を有する地方自治体にて100か所以上の関連イベントを実施する。「海と灯台のまち」自治体や航路標識協力団体に情報やサポートを提供し、5以上の新たな自発的な連携事例を創出し、地域における灯台利活用の推進を図る。

【事業内容】

1. 「海と灯台知識啓発」映像制作
 - (1) 時期：2025年9月～11月
 - (2) 場所：全国
 - (3) 対象：
 - (4) 内容：a. 灯台の文化的価値を伝え、興味関心を高める映像を制作
b. テレビ放送やネットを通じた情報発信
2. 作家との連携による灯台価値の創出
 - (1) 時期：通年
 - (2) 場所：全国
 - (3) 対象：
 - (4) 内容：著名作家による灯台の紀行文の情報発信
3. 灯台×旅の需要調査
 - (1) 時期：通年
 - (2) 場所：全国
 - (3) 対象：一般生活者、企業等
 - (4) 内容：灯台の利活用推進を図るため、灯台×旅に関する需要調査を実施

4. 「海と灯台ウィーク」キャンペーンの実施

- (1) 時期：2025年 10月～11月
- (2) 場所：全国
- (3) 対象：
- (4) 内容：海上保安庁及び「海と灯台のまち」と連携し全国 100ヵ所以上で関連イベントを実施

5. 海と灯台学研究

- (1) 時期：通年
- (2) 場所：全国
- (3) 対象：
- (4) 内容：日本の「灯台」群が海洋文化遺産として持つ価値を探究するため、地質学、考古学、歴史学、建築学、地域学等の視点から調査・分析を実施

【成果物】

- 1. 事業報告書（canpar登録）
- 2. 映像（Web公開）
- 3. 紀行文（Web公開）